

# スポーツの結果

## 彩の国まごころ国体 ～ライフル射撃～ 優勝



10月25日長瀬総合射撃場で、ライフル射撃男女計5種目の決勝が行われ、古野本真希さん(大針)が成年女子エア立射で優勝しました。

「地元での開催ということでプレッシャーもありましたが、世代や経験年数が同じ選手たちの中で、自分は誰よりも練習を積んできたという自信で試合に臨みました。」

## デモンストレーション としてのスポーツ行事 ～グラウンド・ゴルフ競技会～



10月24日(日)川里町の川里中央公園多目的グラウンドで開催され、14市町村から総勢384名が参加し、伊奈町グラウンド・ゴルフ連盟からも4チーム24名が参加しました。

惜しくも入賞は逃がしましたが、個人戦・団体戦で貢献し、大会を盛り上げました。  
◎大会結果(個人上位100位、団体上位50位まで)  
個人戦 (384名参加)  
83位 岩田典士  
団体戦 (63チーム参加)  
41位 あやせ北グラウンドゴルフ同好会(小谷・大越・古瀬・坪野・永田・岩田)



▲男子シングル

- シングルの部  
◎男子Aクラス  
優勝 齊藤悠生(伊奈クラブ)  
2位 浅見貴弘(伊奈クラブ)  
3位 小谷彦之(伊奈クラブ)



▲女子シングル

- ◎女子Aクラス  
優勝 小林恵美(オレンジテニスサークル)  
2位 加納昌子(オレンジテニスサークル)  
3位 関根富美枝(フリー)



▲男子ダブルス

- ◎男子Bクラス  
優勝 岩本孝・高橋良尚(綾瀬クラブ)  
2位 橋本智弘・佐藤清志(伊奈クラブ)  
3位 長島照臣・中村康幸(サザンクロス)



▲女子ダブルス

- ◎女子Aクラス  
優勝 田中美江・宮原美奈子(キッズ)  
2位 上妻秀子・五十嵐照美(Z)  
3位 鶴飼京子・井手律子(サライズ・ファイインショット)

- 中学生男子  
優勝 高村京輔(小針中)  
2位 西口 樹(伊奈中)  
3位 北沢悠太(小針中)  
木村友哉(小針中)

平成16年度伊奈町硬式テニス選手権大会  
シングルの部10月17日(日)ダブルスの部10月24日(日)記念公園テニスコート、丸山テニスコート、南テニスコート

- ◎男子Bクラス  
優勝 幡野政明(フリー)  
2位 山岸善行(KTC)  
3位 渡辺栄二(キッズ)

- ダブルスの部  
◎男子Aクラス  
優勝 亀井住匡・小谷彦之(伊奈クラブ)  
2位 小栗章弘・飯塚行一(サライズ・ファイインショット)  
3位 藤村伸一・秋山純一郎(フリー)

- ◎女子Bクラス  
優勝 加納昌子・森基子(オレンジテニスサークル)  
2位 茂木茂子・宮下みどり(キッズ)  
3位 菊井晴美・水野葉子(綾瀬クラブ・シャトル)

## 町民卓球の集い

- 10月16日(土) ゆめくる  
一般男子  
優勝 松永忠雄(球遊会)  
2位 武田敏美(豊栄クラブ)  
3位 藤田守国(球遊会)  
柳田康夫(球遊会)



## 小室小学校農業体験教室

10月15日、小室小学校の5年生が農業体験教室として、稲刈りを行いました。

去る6月に、生徒たちが田植えをしたお米とあって、収穫を楽しみにしていたようです。はじめは、鎌をおっかなびっくり使っていた生徒たちも、次第にうまく使いこなしていました。収穫したお米は、赤飯にしておいしくいただきました。



岩崎 大樹さん

一人一本ずつカマをわたしてもらったときは、すごくきん張りました。カマの刃が大きくて、いかにも切れそうだったからです。農家のおじさんたちが、カマの使い方ややりとった稲のたね方などを教えていねいに教えてくれました。そうやって稲のかり方を教わっていくうちに、少しずつこわくなくなっていました。いつの間にかリズムよくカマを動かし、どんどん前へ前へと稲をかっていきました。とても楽しい稲刈り体験でした。



仲島 夕貴さん

始めは、かまを持つのがこわくて手を切ってしまうたらどうしようと思ひ、びくびくしながら切っていました。すると教えてくださる方が「も



上村 稜さん

少し根元から強くかると「よ」と言われたので、その通りに思いっきりやると、うまくできませんでした。くり返していくうちに、こわさもだんだんなくなっていました。稲刈りが終わったあと、こしがいたくなり、こんなに大変な仕事だと思いませんでした。みんなといっしょに楽しくでき、うれしかったです。

稲刈りは見ているとかんたんなそうだけど、実際やってみるとかまの手を切りそうでした。わかったです。農家の人に「かまの刃は上から下まであるんだから、刃を全部つかって一発でザクッと切るんだよ」と教えてもらいました。そのとおりにやったら、ザクツときれいに切れました。ぼくはこの体験を通して、できなかつたらできる人に「コツ」を聞く。もしくは自分でコツをみつける。それが大事なんだと学びました。



曾根原 温子さん

いねかりを始めて、さい初は楽しいと思ひながらやっていたけど、だんだんつかれてきて、せなかがいたくなってしまうました。やっとおわったと思ったら、別の人の所がおわってなくて、つだってしまいました。私はさいごだったので、あまった所全ぶをやりました。だからおわったときは、すごくたっせいかんがありました。おじさんに「うまいね」と言われたときはすごくうれしかったです。そしておわったあとに、とてもすっきりしたきもちになりました。



井上 加奈恵さん

私は稲刈りをする前、とても不安でした。理由はカマを使うことです。先生が「とつ



宮内 翔さん

でもあぶないよ」と言っていたので、こわくて使いたくなかつたからです。そして15日。一回ゆつくりやってみると、思ったよりもうまくできました。最後までやりおわると、またやりたいという気持ちになりました。私は農家の人たちの大変さを実感しました。だから今度、この米を大事に料理をして、農家の人にも見せてあげたいです。

ぼくは稲刈りをするのが、むずかしいと思ひていました。稲刈りを実際にやってみたら、思っていたよりもかまで稲を刈るのがかんたんでした。けれども、大きな田を大勢で稲刈りするわけではないので、米を作っている人は、稲刈りをするときたいへんだと思います。だから、農家の人たちが一生けん命作ってくれているお米をだいじにしていきたいです。